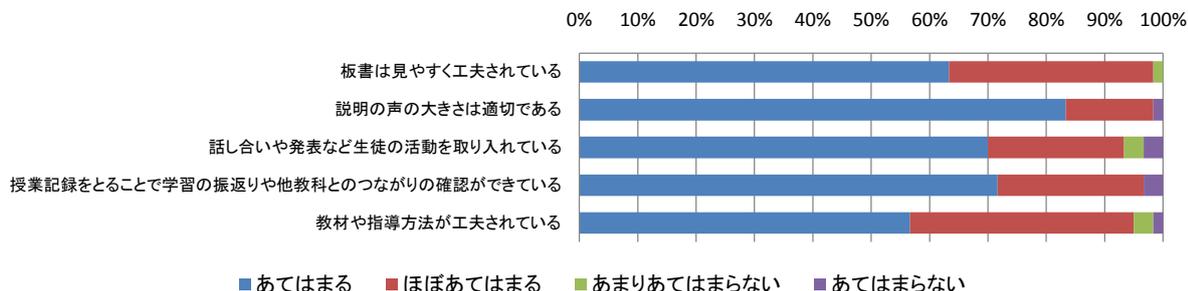


# 令和元年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

教科	<b>数学</b>	重点目標	基本的な計算力を身に付ける。 文章・図・グラフから答えを導く力を身に付ける。
----	-----------	------	---

学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)

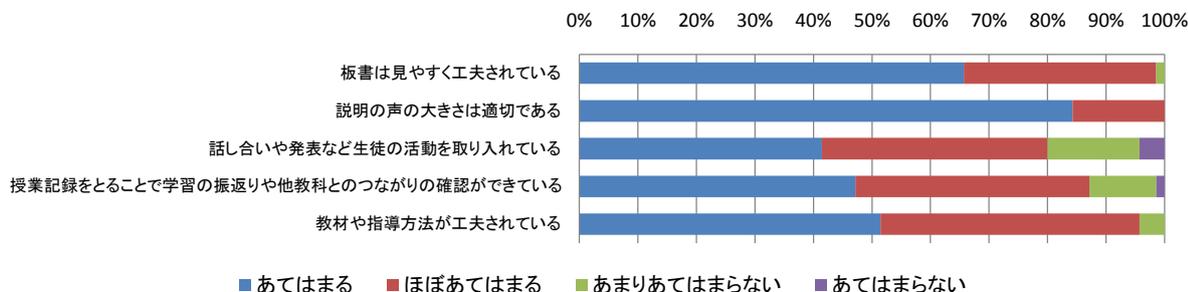
## 1年 数学



分析

授業開始時に計算プリントを実施し、ペアでの答え合わせや間違い直しをさせる活動を行っている。毎時間継続することで、自然と話し合う状況が生まれてきていると考えられる。また、毎授業の振り返りでは、学習内容を整理し、これまでの学習内容とのつながりを意識して記述する力がついていると考えられる。一方で、板書や教材の工夫に課題が残る。板書では、プリントと板書の関連をより明確に分かりやすく提示するようにする。また、教材では、ICTの活用や、実験・観察などの活動を積極的に取り入れていく必要がある。これらの活動を通して、説明する力や話し合いをする場面を多く設定する。

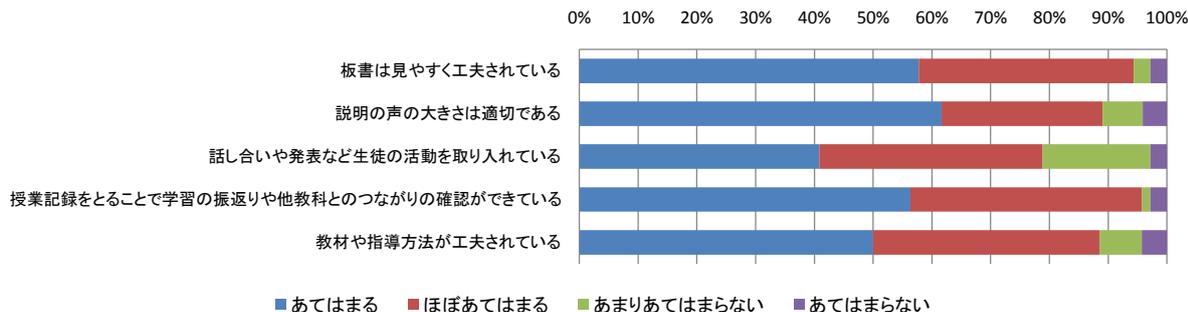
## 2年 数学



分析

全体的には、どの項目についても肯定的な回答が多い。教材や指導方法については高い評価を得られた。一方で、話し合いや発表の活動を取り入れているのは約80数%と他の項目より評価が低く、話し合いや発表の場が少ないと生徒は感じているようだ。もう少しグループ学習の時間や話し合いの時間を増やしていく必要がある。同時に、学習での振り返りの時間をしっかりと確保し、生徒がこれまでの学習内容とのつながりをしっかりと確認できるよう、サポート体制を構築していく必要がある。

## 3年 数学



分析

多くの項目で「あてはまる」「ほぼあてはまる」と回答されているのが多いことがわかる。全体としてはスムーズに授業を進められていると考えられる。その反面、話し合いや発表の場が少ないと感じている生徒がいることもわかった。少人数・習熟度別で授業を行っているため、教員間で連絡を取り合って、活動する場の確保を確認することが大切と考えられる。また、教材の工夫もさらなる向上が求められる結果になっているので、これからの授業に生かしていきたい。